

第2回 鳥羽市水道事業ビジョン検討委員会 議事概要

日時	令和2年11月27日(金) 10:00~12:10
場所	鳥羽市役所西庁舎 3F 中会議室
参加者	検討委員：宮岡委員 清水委員 世古委員 前田委員 東海メンテナンス株式会社：田所オブザーバー 鳥羽市水道組合：中村オブザーバー 第一環境株式会社：佐藤オブザーバー 阿部中部支店長 事務局：浜口課長、杉田課長補佐、西根係長、重見係長、河原
概要	1. 開 会 2. 鳥羽市水道事業ビジョン2021(案)について (1) 市民意識調査結果について (2) 第1回検討委員会意見を踏まえた対応について (3) 第5章実現方策について (4) 関連計画の水道事業ビジョンへの反映について 3. その他 4. 閉 会
資料	資料1 鳥羽市水道事業ビジョン2021(案) 資料2 鳥羽市総合計画に関する市民意識調査結果 資料3 第1回検討委員会意見を踏まえた対応 資料4 関連計画の水道事業ビジョンへの反映

議事概要

1. 開 会

課長あいさつ

おはようございます。水道課長の浜口です。

本日は大変お忙しい中、「第2回鳥羽市水道事業ビジョン検討委員会」にご出席いただきありがとうございます。

また、前回の委員会では計画に盛り込むべき内容について、様々な視点からのご意見をいただき、重ねてお礼申し上げます。

本日の会議では、前回は集計途中であった「市民アンケートの結果」、「前回の会議でいただいたご意見の計画書への反映状況」の説明のほか、今後進めていく方向性である「実現方策」に関してご審議いただきたいと考えています。

将来にわたり、水道を安定供給していけるよう、ぜひ、ご忌憚のない意見を賜りますよう、よろしく願いいたします。

委員長

おはようございます。

お手元に資料1として計画書の案がありますが、事務局にかんばってもらってかなり形になっていると思います。委員の皆様で集まって細かい議論ができるのが、実質今日が最後となります。皆さんの思いを入れてさらにブラッシュアップさせていきたいと思いますのでよろしく願います。

2. 鳥羽市水道事業ビジョン2021(案)について

(1) 市民意識調査結果について

《事務局より、資料2により市民意識調査結果の概要について説明》

委員長

ご質問があれば願います。

支店長

家庭で震災に備えた飲料水対策を行っている方の割合が、前回の平成23年の調査よりも3ポイントほど上がったということだが、何かアピールするなどの対策を行ったのか。

事務局

水道事業として何かを行ったというよりも、市全体としての防災に対する啓発などの取り組みにより意識が高まったのではないかと思う。

委員長

「水道事業の状況、事態がわかりづらい」という意見がある。うまく示せる方法はあるのか。

事務局

計画書の36ページに「広報活動」という項目があるので、水道事業としての取り組みや現状について知ってもらえるように今後力を入れて取り組みたい。

委員長

ビジョンでは紙面が限られているので先ほどの項目のような記載となると思うが、実際の取り組みはその部分を踏まえてやってもらいたい。具体的にはホームページでの情報提供が考えられるが、一方的な内容にならないように、見る方のことも配慮してほしい。

委員長

水道料金が高いと感じている方が前回調査よりも増えているようだが、平成23年以降に値上げをしているのか。

事務局

平成 27 年度に、三重県企業庁からの県水の受水費が下がったことに伴い料金の値下げをしたが、そうしたことが市民の方に十分に知ってもらえていないように感じた。

委員長

割合は前回の調査よりもあがったかもしれないが、「高い」という回答が 30%弱であることを考えるとある程度は知ってもらえているようにも感じる。

「高い」という回答は一般世帯の方なのか、事業をされている使用水量の多い方なのかはアンケートでは特定されていないと思うが。

事務局

計画書の中に県下 14 市の料金比較を掲載してある。一般世帯に多い 13mm 口径の 10 m³で基本水量のみの場合は 5 番目の安さで、従量料金に加わる 20 m³になると 11 番目となる。市民の方にそうしたことも知ってもらえるように啓発したいと思っている。

オブザーバー

当社にとって励みになる回答もあった。無記名のアンケートではあるが回答いただいた方への返答は行うのか。

事務局

回答方法は悩ましさを感じる。ビジョンの策定を進めるにあたっては透明性を意識しており、市のホームページにこの検討会議の開催状況や資料だけではなく検討いただいた内容などを掲出している。そうしたことで、アンケートへの回答になればよいが。

(2) 第 1 回検討委員会意見を踏まえた対応について

《事務局より、資料 3 により前回の委員会意見の反映状況を説明》

委員長

事務局より説明がありました。

前回の会議での意見が反映されているが、まだ足りないなどのご意見もお願いします。

委員長

市民意識調査に、伊勢市よりも水道料金が高いという意見があったが、他市よりも優れているところを記載してはどうか。この料金でこれだけの更新を行っているなど。

事務局

耐震化などの更新の状況は他市を引き合いには出しにくいので、三重県平均という形で示している。

委員長

ビジョン内には具体的な数字がないので、例えば QR コードを入れてホームページに誘導して数字を出してはどうか。

事務局

計画書は文字として製本してしまうと更新ができないが、ホームページであれば最新の情報を提供できるので、そのような方法も検討したい。

(3) 第5章実現方策について

《事務局より、計画案の第5章のうち、第1節「安全」部分を説明》

委員長

事務局より説明があったが、どんなことでも結構なのでお願いします。

支店長

目標項目として挙げている指標の「平均残留塩素濃度」とはどのように測るのか。なんの平均なのか。

事務局

市内8か所の末端で測っている残留塩素の濃度の平均である。

オブザーバー

一般的にはわかりにくい言葉かもしれないので、「平均残留塩素濃度」を注記などに加えることはできるか。

オブザーバー

市民の方が見るという点では「責任水量」という言葉も同様である。

事務局

用語集に加えるよう考えます。

委員長

用語集にある言葉かどうかかわからないので、本文にアスタリスクなどで印を付けるとよいのではないか。アスタリスクだらけになって見づらいか。何か良い方法があれば。

オブザーバー

用語集は通常末尾にあるが、用語を先に知っているとより理解してもらいやすくなるように思う。ホームページを活用するのも一つの方法である。

事務局

用語集を作成する中で、あれもこれも入れたいという思いはあったが、紙面の都合上で絞ったところもある。ホームページの活用というご提案は、それにより市民の方に関心を持ってもらえるのはありがたいので考えてみたい。

委員長

アンケートの回答の中に、「におい」等への意見があったが、安心・安全な水のためには量の確保と質の確保が重要だが、質を向上させる方法として、例えば「におい」が気になる場合、臭気がなくなる方法を紹介するなど、ホームページを活用してわかりやすくするといいいのでは。

計画の紙面だけではなく、プラスの情報をホームページで提供してはどうか。

事務局

先ほど QR コードのご提案もあったので、計画書とホームページを行き来しながら読んでもらうとわかりやすいと思うので検討してみたい。

委員長

最近では児童生徒向けの教科書や大学で使う専門書もそのような方法をとるものがある。興味や関心を持ってもらいやすくなり、効果的な広報にもつながると思う。

委員

最終的にはビジョンの配布はどう考えているのか。計画書本冊なのか、ダイジェストか。冊子のものはなかなか手に取ってもらえないのがダイジェストへ目にふれやすい。

事務局

希望する方には本冊も渡したいが、ダイジェストのようなものも考えたい。

委員

ダイジェストは受水者である企業へも届くのか。企業にも送ってもらいたい。

また、市民アンケートを取っているので、例えば、問3～5について市としての対策や回答をセットにしてもらうとわかりやすい。鳥羽市の水道管が古いということに対して、こういう対策をしているといったことをダイジェスト版で伝えてもらうといいなと思う。アンケートで鳥羽市から問いかけたことを水道課から答えるというまとめ方にするとも一目瞭然でよいと思う。

事務局

ビジョンの中ではなく、アンケートで対比するという形式はわかりやすいと思うので検討したい。

委員長

ダイジェスト版は本編を作成した後でできるものなので、事務局にお願いしたい。

《事務局より、計画案の第5章のうち、「強靱」部分を説明》

委員長

P32に大きな余白があるが何か予定はあるのか。

事務局

余白には関連する写真やイラストなどを考えたい。

委員長

災害時に避難所はいち早く給水ができる状態になるのか。何か計画はあるのか。

事務局

鳥羽市には有人離島が4島あるが、地理的に有事の際に職員による給水活動ができない。配水池は大規模地震動に耐えられるレベル2の構造になっているが、避難所までの管路が破断する恐れがあるため、2年前に神島で耐震改良を行い、現在は答志島で改良をしている状況。まずは離島から地震の後でも避難所で水が出るように進めている。

本土では給水車により給水に回ることを想定している。

委員長

本土の道路が寸断されると給水車も行けないのでは。そのあたりの考えはどうなっているのか。

事務局

どこが寸断されるかは予測ができないが、大きな給水車では通れないところでも軽自動車なら通れる場合もあると思うので、軽トラックに積載できるシートでできたテント状のタンクを載せて運べるものを来年度購入したいと考えている。

委員長

有事の際の対策は島しょ部から進めているということなので、ホームページなどで自分の地域がどうなるかをわかるようにできるといい。避難所に行けば水が確保できるというようなことが分かれば住民も心強いと思うので、何らかの形で伝わるようにするとよい。

《事務局より、計画案の第5章のうち、「持続」部分を説明》

オブザーバー

目標項目として給水原価を載せているが、供給単価は載せないのか。

事務局

追加で載せるように考えたい。

オブザーバー

コロナの基本料金免除はずっと続くとよいと思うが、水道事業の収入は水道料金だけなのか。

事務局

現在コロナ禍の状況を踏まえて基本料金の免除を行っている。これは、内部留保資金というものを活用して還元しているというものである。4月から12月までの実施を決めたが、水道事業として経営しているので、12月使用分で終了する。内部留保資金がなくなってくると水道料金を値上げせざるを得なくなる。

オブザーバー

前回の会議で河内ダムのことに触れたが、安定的に放水したら岩倉水源の水も安定すると思うので、県水を受水費を払ってまで購入しなくてもいいのではないかという意味だった。責任水量ということで使わなくても払わなければならないのならなおそう思う。

事務局

現在市全体では県水が7割、自己水源が3割程度となっている。

年度により施設の修繕の金額にばらつきがあるが、自己水源を井戸からくみ上げるのにもコストがかかっている。県水についても購入費を配水量で割ると単価が出るが、比較すると県水は自己水源よりも1m³あたり10円程度単価が高いという状況である。そのため鳥羽市としては安心の確保のため二元給水制でいきたいという考えでいる。

また、責任水量に関しても実態に合ったものとなるように関係市町で三重県に協議を行っているところである。

オブザーバー

相差の観光の充実を図るために、消防の南鳥羽出張所のあたりに配水池を設けてはどうか。消防に水がないというのも腑に落ちない。住民からも現在の町内よりも、海拔が高い南鳥羽出張所近辺に家を建てたいという希望もある。

水道料金だけで難しかったら観光分野や消防から出してもらえないのか

事務局

消防が南鳥羽出張所を建設する際に、水道管が通っていないということは協議しており、それを了解の上で現在の場所を選んでいる。もし水を送るようになれば、数十億円規模の高額な費用がかかることになり、実現するためには水道料金への影響も出てくることである。

オブザーバー

水道料金だけでは難しかったら観光や消防などからお金を出してもらえないのか。

事務局

地元からの要望はあることは承知しているが、昨年度の市議会でも同様の一般質問があり、現状では困難である旨を答弁させてもらった。

委員長

地域によっては個別の課題もあると思うが、市全体としてどういう方向性で進めるかということがビジョンに書かれることになる。

先ほどの発言は貴重なご意見として継続して考えていただきたい。

水源の話については、県水が7割ということだが、水質事故のことなども考えると複数ないと不安な状態なので、二元給水体制で余力のある体制を作っておいた方がよい。

委員長

第5章全体に関しても結構ですが、ご意見はありませんか。

委員

「強靱」の目標項目で管路の老朽化の率を載せてはどうか。

「持続」の目標項目に給水原価があるが、鳥羽市がどの程度なのかわからないので三重県の水準は併記できないか。

事務局

給水原価の平成30年度の全国平均は178.59円となっている。三重県平均ではなく類似団体の平均では160.96円なので鳥羽市の水準は高い。

給水原価を求める計算式は、「経常費用／年間総有収水量」となるので、有収水量が下がると給水原価が上がることになる。

委員

老朽化の率については三重県や全国の状況は出せるのか。

事務局

計画書の15ページにも国・県の状況を記載しており、把握することは可能である。

委員

二元給水について、鳥羽市は県が7割で自己水源が3割ということだったが、南勢エリアのほかの自治体はどうなのか。

事務局

県水は南勢水道のブロックで水量の配分が決められているが、自己水源の状況は市町により異なっており、その内訳までは把握していない。

委員

課長の考える二元給水のベストバランスはどのくらいか。

事務局

現在の県が7割、自己水源が3割がベストであると思っている。岩倉水源もある程度水をくみ上げるために稼働させる必要があることを考えると、現状のバランスがよいと考えている。

(4) 関連計画の水道事業ビジョンへの反映について

《事務局より、関連する分野別計画のビジョンへの反映について説明》

委員長

水道課だけでつくる縦割りではなく、横断的に他の課にもつながりがあるということ意識してもらえたと思う。関連計画をうまく入れ込んでもらったと感じる。

委員長

提案するタイミングとしては少し遅くなってしまったが、この計画にはSDGsについての記載がない。国や県が推進していることでもあり、水道はSDGsに関連することも多いのではないかと思うので記載してはどうか。

蛇口をひねれば飲める水が出る。ペットボトルの水の購入が削減できれば環境ということにもつながり、そうしたことが鳥羽の水道水のアピールできるポイントにもなるのではないかと考える。

計画を全面的に見直すというようなものではなく、コラム的なものでもいいので少しSDGsの要素を入れるというのもよいと思うがどうか。

事務局

国際的な取り組みであり、SDGsが各所で広がっていることも承知しているが、今回の計画の中では具体的にSDGsについて書き込めていなかったという反省はある。

計画の大きな見直しはスケジュール的なこともあり難しいところはあるが、今からでもできるような、コラムのような形での追加を考えてみたい。

委員長

今からでも可能であれば、他の計画との齟齬がない範囲で検討していただきたい。

3. その他

委員長

その他に関して委員の皆さんから何かありませんか。

委員

鳥羽の水を出してもらっているが、これは防災用なのか。

事務局

防災用ではなく鳥羽の水道水のPR用である。鳥羽市民を対象としたイベントなどに無償で提供させてもらっている。岩倉水源の水である。

委員

最近伊賀市が「伊賀の天然水」をアピールしているが、同様にもっとネーミングやパッケージを見直して販売するという事も検討してはどうか。もっと魅力を高めてもいいと思う。

PR用であれば旅館の部屋に置いてあってもいいと思う。ペットボトルの水はまだ改良もできるし可能性を感じる。さらに収益にもつながればいいのではないかと思うので検討してはどうか。

事務局

ラベルは新しくしたばかりではあるが考えたい。今後も相談させていただきたい。

委員長

鳥羽の水のペットボトルは商品価値が出てくるのではないかと考えている。

東京都は水道水を売っているので地域活性化の手段として考えてもらおうとよいのではないか。

委員

発注単位は多いのか。

事務局

2年ごとに作っており、賞味期限が5年間なので、新しく作ると以前のものを防災用に提供するというように使用している。

委員

余談であるが、会議所が8月に知事への要望を行った中で、海洋プラスチックの再資源化に関するものがあつた。例えば再資源のペットボトルを使った商品は大手商社も参入しており、消費者も金額が高くても感度が高い人は購入する。

旅館などに置くのであればそのような視点も入れるとよいのではないか。

事務局

事務連絡

内容等の微調整を行う可能性がある

調整は事務局と委員長に一任いただきたい

スケジュール

本日以降：ご意見を踏まえた修正を行い、庁内に意見募集を行う。

12/21：市議会全員協議会に計画案を報告

R3.1/4～18：市民意見募集（パブリックコメント）を実施

※パブコメと並行して検討委員・オブザーバーへの意見照会を文面で依頼予定

委員長

全体の調整を行うための議論は今回で終了となり、今後、私たちが意見を言うのは紙面ということになります。

それでは、本日本日予定した内容はこれで終了となります。これで第2回鳥羽市水道事業ビジョン検討委員会を終了します。

事務局

本日も長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。

今日いただいた貴重なご意見は水道事業ビジョンに盛り込むように努めたいと思います。

次回の委員会では最終案としてご報告できるように考えています。

お忙しいところではありますが次回もご出席いただきますようお願いいたします。

長時間にわたりありがとうございました。

閉会